

# 木内鶴彦と巡る早春南三陸の旅

☆☆☆☆★☆☆

木内さんは医学的データがある世界で唯一の死亡体験者と立花隆氏が認めています、彼がその時見てきた未来の世界は確実に現実化され、新たな展開が起きてきています。

その木内さんはこれまでも世界各地の古代の文明の地を訪れて、人類と自然の共存の歴史を独自のセンサーで読み解き、新たな視座で激動、激変の今に活かす提案を下されています。

今回は宮城県南三陸の地を巡る旅です。311 東日本大震災の復興の姿を見て、支倉常長の役割足跡をたどり、古の聖地、修験の地、巨石の地を巡ります。各地の豊かな自然、文化、歴史に触れ、秘められた真気を満喫し心身を清浄化し、古の先人の叡智に焦点を当て、深奥を探る盛り沢山な貴重な旅です。

各地で木内さんのお話をお聞きして巡る旅は、我々が生きていく上に欠かせない視点、明るい未来世界への指標となる素晴らしい内容となることでしょう。ご縁の皆様の参加をお待ちしております。

<p>・日 時：2019年3月30日（土）～31日（日）</p> <p>・集 合：仙台駅西口降車場辺り 6時50分</p> <p>・行 程：（車分乗・天候及び諸事情で変更あります）</p> <p>30日：仙台駅7時出発→支倉常長メモリアルパーク（大郷町）→富山（松島町）→奥松島縄文村（東松島市）→佐藤造船所→サン・ファン・パウティス館→昼食→石神社・石嶺山・巨石（登山1時間半位）→白銀崎・白銀神社→釣石神社（以上石巻市）→神割崎→宿17時半到着</p> <p>宿泊先 南三陸温泉 ホテル観洋 南三陸町志津川黒崎 99-17 0226-46-2442</p> <p>31日：宿8時半出発→田東山・計仙麻大島神社→本吉明神→神行堂山麓の巨石→重ね石→ひころの里→昼食（以</p>	<p>上三陸町）→竹峯山華足寺→遠流志別石神社→大嶽山興福寺（以上登米市）→伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター（栗原市）→仙台駅20時頃到着解散</p> <p>・参加費：39000円・酒飲み方+1000円 （1泊4食、飲み物、菓子、交通費、謝礼含む）</p> <p>・定 員： 12名（定員で締め切ります）</p> <p>・参加資格：NGO 仙台テンメイ会員</p> <p>・申込方法：参加申込書に記入しFAX、又は mail でお申し込み下さい</p> <p>・振込先：郵便貯金総合口座 口座名仙台テンメイ 記号18160 番号4790801</p> <p>・お問合せ：仙台天命塾事務局 大久保 直政 TEL/FAX 022-279-1024 . 090-8786-7300 E-mail<a href="mailto:atowa999@gmail.com">atowa999@gmail.com</a> HP<a href="http://genkiup.net/">http://genkiup.net/</a></p>
---	---

**木内鶴彦氏 プロフィール**

1954年長野県出身。彗星探索家。幼少より星や宇宙の神秘に魅せられ、彗星に興味を持つ。自衛隊に入隊するが、22歳の時、生死をさまよう病気になり、世界で例のない30分もの呼吸・脳波・心臓停止の死亡状態から生還した。自衛隊退官。以後、長野県にて天体観測を続け、数年間に4つの彗星を発見した。1992年“見つけたらノーベル賞級”と言われたスウィフト・タートル彗星をたった11桁の電卓を使い、独自の軌道計算により発見。世界を驚かせた。さらにその軌道から、2126年に地球への衝突を示唆し、映画「ディープインパクト」や「アルマゲドン」のモデルとなった。死亡体験で得た地球再生への具体的な方法は世界中から注目されている。地球誕生の時の水をイメージして作った生体活性水「太古の水」を開発。太陽光を利用したエネルギーシステムの国際特許を2008年取得。

現在、全国で講演会・観望会を行い、天文や環境問題、特に光害とそこから派生する自然環境破壊を強く訴えると共に、地球生態を取り戻す産業構造と経済システムの研究・実験を行っている。太陽光エネルギーを活用しゴミの資源化と新エネルギーを作るシステムも発明しています。その利益は地球再生「ゴミを緑へ」の循環を目指しています。更に、木内さんの「太古の水が燃える」ことが注目されていて産業化される可能性がでてきています。NGO GREEN GAIA 代表。著書：「宇宙（そら）の記憶」（龍鳳出版）「生き方は星空が教えてくれる」（サンマーク出版）「臨死体験」が教えてくれた宇宙の仕組み」（晋遊舎）「らくらく5次元ライフはじまりはじまり」「あの世飛行士」「あの世飛行士、予約フライト篇」「臨死体験3回で見た2つの未来」「歴史の有名人あの場面」「木内鶴彦の超驚異的な超宇宙」（ヒカルランド）その他。

元気 UP 仙台天命塾 第330回 南三陸の旅 参加申込書 講師 木内鶴彦氏  
FAX 022-279-1024 2019年3月30日（土）～31日（日）

氏 名		男	TEL	
E-mail		女	FAX	
住 所	〒			